

# 防災・安全

## 自転車の安全対策について

川里春治議員(政和) ①自転車事故の実数は。

②携帯電話をかけたがらの運転や傘差し運転防止策は。

市長 ①小平警察署に確認したところ、自転車関与する事故は平成19年が473件、20年が444件、昨年が370件との回答であった。

②市では小平警察署や小平交通安全協会と協議を行い、傘差し運転防止のための啓発用品を試行的に配布するなどの検討を進めている。今後も交通安全対策全般については関係機関と連絡を密にし、実効性のある対策を講じたい。

### 秋の交通安全教室

(新東京自動車教習所)



## ICTを活用した地域活性化と地域防災情報システムについて

斎藤貴亮議員(フオ) ①ICTを活用した地域防災情報システムはどのようなものか。

②多摩六都の5市で取り組み



災害時に切り替わる市のホームページ

る事業があると思うがどうか。

市長 ①大規模災害が発生した場合、市ホームページを災害時緊急用に切り替え、災害情報を迅速、正確に伝えることとして

いる。また携帯電話向けメールマガジンの活用やケーブルテレビ等で優先的な配信を行う。

②地域活性化への活用は各市の事情が異なり困難だが、防災情報は共有することで大きな相乗効果が期待できるものもあるため5市に限定せず、広範囲な取り組みが有効と考える。

## 空き家対策のための適正管理条例をつくれ

浅倉成樹議員(公明) ①放置

状況にある空き家の実態は。

②問題のある空き家に対する苦情や相談への対応は。

③空き家対策のための適正条例を制定すべきでは。

市長 ①市は実態を調査していないが、警察署や消防署では防犯・防災上の観点から一定の把握をしていると聞いている。

# 福祉

## 高齢者や障害者のグループホーム等の開設促進について

西 克彦議員(共産) ①高齢

者・障害者向けグループホームの現状と計画は。

②今後の見通しは。

③市として独自に援助できないか。

市長 ①認知症高齢者グループホームは現在5か所に対し計画では9か所、障害者グループホームは14か所予定90人、本年度の目標値を達成している。

②介護保険事業関連では西部地域で開設に向けた協議が進んでおり、障害者グループホームは来年度に1施設が開設できるような検討していく。

③国や都の補助事業等を最大限に活用し、引き続き必要な施設整備に努めたい。

## 地域コミュニティとプライバシーの問題について

川里春治議員(政和) ①独居

高齢者の確認方法と問題点は。

②いざというとき個人情報がかんがえる方法を考えているか。

市長 ①高齢者の見守りをする目的とした事業を市や地域包括支援センター、社会福祉協議会、高齢クラブなどが重層的に実施し

②敷地内の樹木等が周辺に多大な影響を及ぼしているとの判断した場合は、管理者等に適正管理をお願いしている。防犯、防災の相談は警察署や消防署の担当部署を案内している。

③防犯上の観点などから対策を研究したい。

ている。問題点は、人と地域のつながりが主眼の事業の利用者がふえていない現状がある。

②医療情報等や本人の写真などを保管する専用容器を配布する準備をしており、高齢者の見守り事業や災害時要援護者避難支援体制整備事業などを通じた検証等を踏まえ効果的に配布したい。

市は高齢者の在住を確認しているか

常松大介議員(フオ) ①現時

点で住民登録はあるが、在住が確認できない後期高齢者はいるか。それはどう把握できたか。

②今後対策をとる必要は。

市長 ①100歳を超える方を除き特別な把握はしていないが、被保険者証の一斉更新の際に送付した返戻分の確認作業により、

そうした方が含まれている可能性もあるのではないかと受け止めている。

②市民の生命にかかわる危険の有無の確認、適正な行政サービスの執行の確保などの面から取り組むべき課題があるものと受け止めている。

高齢者の所在不明問題に対して市がやるべきことは何か

佐野都夫議員(政和) ①100歳

以上の高齢者の確認方法は。

②個人情報自治会に提供できる条例の可否と課題は。

③緊急医療情報キット導入など、安否確認手法の検討は。

市長 ①施設入所や介護保険等のサービス利用がない方は、地域の民生委員などを通じて近況確認を行った。

②自治会での合意形成や未加

入者への対応、個人情報保護の点で課題があるが意見交換で検証し必要の有無を考えた。

③地域の理解と課題検証等を踏まえ、効果的に配布したい。見守り事業の再構築も検討中である。

シルバークリアについて

山岸真知子議員(公明) ①人

居者の介護保険利用状況等を掌握すべきと思うがどうか。

②今後、シルバークリアをどのような形で運営していくのか。

市長 ①生活協力員からの相談

シルバークリア(学園西町丁目第2アパート)

や毎月提出される報告書等により生活状況等を確認し、介護が必要な場合は地域包括支援センター等に連絡、相談等を行い連携に努めている。

②介護福祉等にかかわる地域資源との連携や地域での見守り機能の方向性、地域包括支援センター等との連携強化を含め、今後の生活協力員の役割やあり方などを検討したい。

小平市は高齢者に安心の町か

木村まゆみ議員(共産) ①100

歳以上だけでなく、75歳以上の高齢者も所在を確認できないか。

②個人情報保護等により高齢者との接触が困難だが、命を守るため民生委員等を巻き込んだ特別チームをつくれぬか。

市長 ①調査対象者の範囲拡大については、どこまでを緊急性の高い場合とらえて対策をとるかなど、国や都等の整理に沿って対応したい。

②現時点では考えていないが、市、関係機関を含めた地域情報の共有等が必要であると認識しており、連携のあり方を検討していきたい。

# 都市整備

## 駅・駅周辺整備に市民の声を生かそう

日向美砂子議員(生ネ) ①障

害者や高齢者、子ども等の交通弱者にとって危険な箇所をどのように把握しているか。

市長 ①再開発事業の駅・駅周辺整備に市民の声は反映されるか。

②自治会での合意形成や未加

小川駅西口地区再開発と周辺の都市整備はどのようなものか

佐野都夫議員(政和) ①事業

協力者決定の意味と今後は。

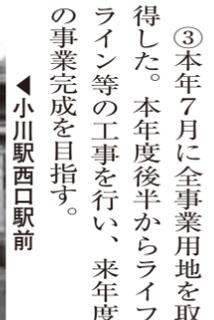
②富士見通りと小川西保育園通り交差点の横断歩道設置は。

③都市計画道路3・4・10号線と3・4・21号線の見直しは。

市長 ①資金協力が担保されたため、今後は組合の設立に向けた来年度末を目途に都市計画決定の準備へと進む。

②緑成会病院前交差点と二中通りとの交差点に横断歩道があるため、設置は困難と小平警察署から聞いている。

③本年7月に全事業用地を取得した。本年度後半からライフライン等の工事を行い、来年度の事業完成を目指す。



小川駅西口駅前



新小平駅南有料自転車駐車場

駐車をしながらの待機が多く、実質的な待機者は少数と認識している。新小平駅の待機者は千二百27人だが、重複申し込みが多く実質は500人ほどと想定される。

②無料駐車場を順次有料化することにしており、来年度は4か所の無料駐車場を有料化及び機械化したと考えている。また、待機者が多い駅については民営自転車駐車場等補助事業を活用して解消に努めたい。

小川駅西口再開発と周辺のまちづくり計画等について

西 克彦議員(共産) ①事業

協力者が承認されたと聞くが、どのような意味を持つのか。

②周辺住民等から駅周辺の通行安全策など、まちづくりに対する要望が出ているが、緊急を要するものも含め計画性をもって取り組めないか。

市長 ①参加組合員決定までの資金協力が担保されたことから、市街地再開発組合設立に向けて大きく前進した。

②今後、事業推進計画作成の中で駅周辺の課題も含め検討していくべきものと考ええる。

自転車の駐車をしやすいように

平野ひろみ議員(生ネ) ①定

期利用者の待機数は。

②今後の方針、計画は。

市長 ①本年7月末現在、鷹の台駅、一橋学園駅、小平駅、花小金井駅で計808人いるが、他の